


建設技術フォーラム2016 in 広島に参加！（H28.11.11）

くらし
てミーティング 

- 11月11・12日の2日間に渡り開催された『建設技術フォーラム2016in広島』で、くらしでミーティングの活動を紹介するためパネルを展示しました。
- くらしでミーティングの活動内容等、女性が活躍する職場を目指した取り組み内容について、建設業界の方々や学生等、多くの来場者に紹介し、フォーラムを盛り上げました。

くらしでMブースは
女子学生に大人気



若手女性職員もパネル説明者として参加



＊担当者の感想＊

熱心にメモをとる学生も見受けられ、多くの方に関心を持っていただくことができました。いただいたご意見、ご感想をもとに、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

参加者の
ご意見・ご感想

- 子育てをしながら働き続けられるのはすごい。（工業高校・女性）
- ワークライフバランスのための制度がある職場と知り、興味が湧いた。（高専・男性、高専・女性）
- 高専の卒業生が多く働いていて、興味が湧いた。（高専・男性、高専・女性）
- 自分の職場には、くらしでミーティングのような、女性職員が集まる場がないためうらやましい。（コンサルタント・女性）
- インフラツーリズムについて、土木施設を見学する機会はあまりないため、参加してみたい。（大学、高専・女性、コンサルタント・男性）

道の駅施設点検【しまねU女子会×くらしでM】 H28.11.11



- くらしでミーティングでは、より良いインフラ施設になることを目指して、一般利用者が多い国土交通省所管施設について、女性目線でのインフラ施設点検を実施しています。
- 今回は、備北丘陵公園における施設点検に続く第二弾として、平成28年11月11日（金）に「みはら神明の里（広島県）」と「掛合の里（島根県）」の2カ所の道の駅について、「しまね建設産業イメージアップ女子会（しまねU女子会）」の方々と合同で点検を行いました。



松江国道事務所では「掛合の里」のトイレや情報コーナーのある駅舎のリフォームを予定しており、駅長の松下さんに道の駅の現状を聞きながら、活発に意見交換が行われました。



道の駅『掛合の里』の視察



広島県の道の駅で
人気No.1のトイレの視察

「みはら神明の里」は福祉団体と意見交換をしながら設計されており、当時の担当者である山崎副所長がアドバイザーとして、工夫点などを紹介されました。

～意見交換会 in掛合の里～

- ✓ 手洗い場で温水があると嬉しい
- ✓ 喫煙室に換気設備が必要では
- ✓ 屋根はとても立派なので残してほしい



掛合の里は1990年にオープンしたということもあり最近の道の駅と設備がだいぶ違います。シニア層の方々がゆっくり過ごすことのできる場所にしていきたいです。（掛合の里駅長 松下さん）



意見交換会の様子



集合写真

東広島市立寺西小学校でくらしてミーティングによる防災に関する 出前講座を実施（H28.10.19）



- これまでの防災教育支援は、整備局で保有する素材（写真・動画など）を提供して、授業として先生自身が実施していたが、この度出前講座として防災教育支援担当の防災課と、女性の感性を活かすため「くらしてミーティング」が連携して授業を実施。
- 平成28年10月19日（水）に東広島市立寺西小学校5年生（5クラス合計約200人）を対象に出前講座を行い、児童は飽きることなく最後まで集中して授業を聞き、先生にも好評を得た。

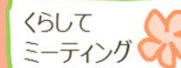
●内容 《理科》

①学習の振り返り	これまでに学習した「流れる水の働き（浸食・運搬・堆積）」について振り返るとともに、大雨や長雨となった場合に、水のはたらく力が大きくなることで災害が発生する可能性が高くなることを理解。
②川の水が増えると、どのような災害が起きるか	過去に発生した災害事例（鬼怒川の映像（ドローン）、鬼怒川被災前後の上空写真、広島での災害写真）をもとに学習。 ⇒ 災害は時には命も奪うことを理解。
③災害を防ぐための取り組み	流れる水の量を増やさない取り組み（ダム・放水路）、川岸が削られないようにする取り組み（コンクリート護岸）を学習。 ⇒ 施設を造っても災害を確実に防げない。逃げるのが大事。 ⇒ ハザードマップの紹介と見方を理解。
④災害から生命を守るために、私たちにできることを話し合う	○どこへ逃げるのか？（ハザードマップで避難場所、避難ルートの確認） ○持って逃げるものは？ ○家族と話しておくこと（避難場所、連絡先） ○他に気になるものは？ ⇒ 帰ってから家族で話しあうことを促す。
⑤まとめ	かけがえのない命を守るために、すぐに避難できるよう事前の準備が大事であることを学習。



- 工夫した点：授業が単調にならないよう、動画再生（鬼怒川破堤）や班別討議（ハザードマップ）を行った。スムーズな授業運びができるよう先生役の他に板書役をつけた。またあらかじめ板書パネルを用意した。

産・学・官の女性技術者による意見交換会 & 現場見学会 in鳥取 (H28.10.7)



- ❑ 鳥取河川国道事務所管内にて、産・学・官による意見交換会と現場見学会を開催しました。(H28.10.7)
- ❑ (一社)土木技術者女性の会4名、鳥取大学女子学生3名、整備局女性職員9名(技官:7名、事務官:2名)の計16名が参加しました。

意見交換会の概要

- 冒頭、田宮事務所長より「土木の仕事は非常に幅広く、様々な関わり方がある。活発な意見交換を行い、今後の意識の持ち方や働きやすい職場づくりの参考にさせていただきたい」と挨拶がありました。その後、自身のキャリアと事務所における仕事の概要を説明されました。
- 学生からは、「①働く上で男性と扱いの差は感じますか?」、「②女性が少ない業種ですが、その中での役割をどのように考えていますか?」、「③建設会社で働いて良かったなと思ったことは何ですか?」などの質問があり、参加者が自身の経験を踏まえて回答を行いました。
- 土木技術者女性の会の村上氏は、学生に対して「このような機会に、立場の違う方から多くの意見を聞き、情報を積極的に集めることで、自分で仕事を選ぶ決断する際に活かしてもらえれば」と述べられました。



意見交換会の様子



集合写真

現場見学会の概要

- 事務所管内で、女性技術者が実際に施工現場で働いている「鳥取西道路気高第1トンネル西工事」(鹿島建設株)において現場見学会を行いました。
- 冒頭、姫村副所長より「この機会を活かして、自分の目で実際の現場を見て、質問をすることで見識を深めていただきたい」と挨拶がありました。
- 整備局の若手職員が、鳥取西道路の事業概要や整備効果を説明しました。
- 土木技術者女性の会の中村氏(鹿島建設株)が工事概要を説明しました。



整備局の若手職員が事業概要などを説明



現場の女性技術者が工事概要を説明

感想

- 「異なる立場の方々のお話を一度に聞くことができ、仕事のイメージが沸きやすくなりました。」(女子学生)
- 「違う会社の現場に入ることができたのはとても興味深く、大変勉強になりました。」(土木技術者女性の会)
- 「『みんなの目標が同じ方向を向いており、一丸となって何かをつくるところに性別の差はない。』という意見が印象的でした。」(中国地方整備局)



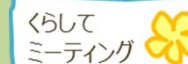
集合写真



学生からも積極的に質問がありました

国営備北丘陵公園施設点検を実施（H28.9.9）

～女性目線でインフラ施設をチェック！～



- くらしてミーティングでは、より良いインフラ施設になることを目指して、特に子どもなど一般利用者が多い国土交通省所管施設について女性目線でチェックすることによって、女性目線でのインフラ施設点検を開始しました。
- 今回インフラ施設点検第一弾として、平成28年9月9日（金）に国営備北丘陵公園の点検を行いました。

施設点検の様子



この身障者用トイレ、
トイレ自体は新しくなってるけど、
このスライドドアが重すぎない？



この位置にベビーシート！？
みんなが通る通路横は使いにくい。



この情報掲示板、さみしいなあ。



この日よけ、大きくていいね！
他のエリアにも置いて欲しい！



- ・点検後、公園課のみなさんと意見交換会を行いました。
- ・公園課のみなさんからは、「限られた予算のなか、点検結果を反映できるところはすぐ直していきたい。」との意見を頂きました。

点検結果を、早速現場に反映！

「トイレの洗浄水が黄ばんでいるけど、中水(再生水)を使用しているのであれば、その説明パネルを掲示した方が利用者が気持ちよくトイレを使えるのではないか。」という意見があり、早速公園課の方が園内のトイレに説明パネルを掲示して下さいました。



園内トイレの様子



その他の意見も検討し進めて頂いています。

今後は「道の駅」や「親水護岸」など、道路施設・河川施設の点検へ展開！

気象予報士による講演会とライブトークを開催（H28.8.2）

～女性がもっと活躍できる職場を目指して～

くらしで
ミーティング 

- 女性がもっと輝き、活躍できる中国地方整備局を目指し、くらしでミーティングプレゼンツの女性講演会(H28.8.2)を開催。
- 女性職員をはじめ、男性職員及びリクルート活動中の学生(95名(女性52名、男性30名、学生13名))が参加。
- 女子学生と事務・技術の女性職員によるライブトークを開催。女子学生と女性職員の情報共有、ネットワークを形成。

講演会「女性の仕事と家庭の両立～より輝ける自分を目指して～」

【講師】田代香子氏

(気象予報士、TSS「みんなのテレビ」お天気コーナー出演中)

講演状況



【職員の感想】

もっと女性目線で働き方の運用を作っていけばよいと思った。



瀬良副局長

【挨拶】

経済社会が発展するために「女性が輝く社会」の実現が重要とのメッセージを発信。

【講演内容】

● アナウンサーの仕事と結婚・出産について自らの経験を紹介。国土交通省の仕事の重要性・期待について解りやすく説明。ワークライフバランスの職場環境のヒントなどを講演いただいた。『働く女性の仕事と家庭の両立必要なこと』

- ・「働き続ける」という強い意志！
- ・1日1回、笑顔を作る！
- ・自分一人で抱え込まない！



気象予報士 田代香子さん

女子学生と女子職員によるライブトーク

- 小グループに分かれ、現状の職場環境や仕事と家庭の両立などについて意見交換。

【女子学生の感想】

- 自分が将来出産しても働き続けるイメージが湧いた。
- 中国地方整備局で働きたいという思いが一層強くなった。



ライブトークの様子